

地理・歴史

- 位置
カリマンタン島東部、北・南・中・西カリマンタン各州に囲まれ、一部マレーシアと接する。
- 面積 約129,067km²（全国の約6.7%）
- 州都 サマリンダ
- 地方自治体
3市（サマリンダ市、バリクパパン市、ボンタン市）
7県（ベラウ県、クタイ・カルタヌガラ県、西クタイ県、東クタイ県、マハカム・ウル県、パセル県、北プナジャム・パセル県）
- 人口 385万人（2022年）
- 種族（2010年）
ジャワ(30.3%) ブギス(20.8%) バンジャル(12.5%) スラウェシ(6.4%) クタイ(6%) など
- 宗教（2010年）
イスラム教:85.4% プロテスタント:9.5%
カトリック:3.9% 仏教:0.5% ヒンドゥー教:0.2%
- 時間帯
日本時間 -1時間（インドネシア中部時間）

- 14世紀の東カリマンタンにはクタイ王国、ブラウ王国等が存在。18世紀以後マカッサル海峡航路に勢力をふるったブギス人（スラウェシ島出身）が貿易拠点の一つとしてサマリンダを開発。
- バリクパパンは19世紀末に地下油田の開発が進められ、今日では石油、天然ガスの供給基地。
- インドネシア独立戦争の時期は、オランダが設立した「東インドネシア国」に組み込まれていたが、1950年に同国の消滅を受け、カリマンタン地域全域が「カリマンタン州」となった。
- 1956年、「カリマンタン州」が、東カリマンタン、南カリマンタン、西カリマンタンに3分割され、サマリンダが東カリマンタン州の州都と制定された。2013年4月、北部の1市4県の地域が北カリマンタン州として分離された。
- 2019年8月、ジョコ・ウィドド大統領は、東カリマンタン州北プナジャム・パセル県の一部とクタイ・カルタヌガラ県の一部の地域を首都移転先とする計画を発表。2024年の移転開始を目指すもの。



行政・政治

- 東カリマンタン州
知事：イスラン・ヌール（元東クタイ県知事）
副知事：ハディ・ムルヤディ（前福祉正義党国会議員）
※いずれも任期は、2018年～2023年。第1期目。
- 陸軍第六軍管区司令部ムラワルマン師団（東・北・南カリマンタン所掌）が東カリマンタン州バリクパパンに所在。
- 州設立日 1956年12月7日
- 州議会（全55議席）（2019-2024）

政党名	議席数
ゴルカル党	12
闘争民主党(PDIP)	11
グリンドラ	8
国民信託党(PAN)	5
民族覚醒党(PKB)	5
福祉正義党(PKS)	4
開発連合党(PPP)	4
民主党(PD)	4
ナスデム党	1
ハヌラ党	1

経済

- 州内名目GDP 921.3兆ルピア（2022年/州統計局）
一人当たり名目GDP 238百万ルピア（ジャカルタに次いで全国2位/2022年/中央統計局）

経済成長率(対前年比)	2022	2021	2020	2019	2018	2017
全国	5.31	3.70	-2.07	5.02	5.17	5.07
東カリマンタン	4.48	2.55	-2.90	4.70	2.64	3.13

- 主要産品 石炭・石油・天然ガス
- 貿易（2022年/州統計局 ※石油・ガス除く）
輸出 330.5億ドル（(1) 中国(25.4%) (2) インド(17.0%) (3) 日本(11.4%)）
輸入 17.4億ドル（(1) 中国(15.7%) (2) 韓国(13.9%) (3) 米国(13.7%)）
- 外国投資（2022年）12.6億ドル
(1) シンガポール(24.6%) (2) 中国(22.0%) (3) マレーシア(12.8%)

教育・文化

- 東カリマンタン州内の日本語学習者数3,548名。州内28校の高校で日本語学習授業が実施されている。(2021年国際交流基金調査)
- 元日本留学生協会(プルサダ)東・北カリマンタン支部2021年8月設立。国立ムラワルマン大学関係者(現会長含む)が多数在籍。
- 主な観光地 ダイビング・スポット(デラワン島、マラトゥア島、カカバン島) 、オランウータン保護施設(サンボジャ)等

日本との関係

- 1942年1月、日本軍がバリクパパンに侵攻。戦争末期、タラカンとバリクパパンは激戦地となり、バリクパパンからサマリダに通じる街道は「死のサマリダ街道」として、退却する日本軍の多くが飢えと病に倒れた(死者約1万人)と言われている。
- バリクパパンとサマリダ周辺の主な慰霊碑は以下のとおり。また、バリクパパン市に、大戦中に日本海軍が使用した大砲が展示されている(Museum Mariam Jepang)。



南方方面戦没者慰霊碑

1. バリクパパン郊外ラマル海岸「南方方面戦没者慰霊碑」
2. バリクパパン郊外カラングアン(サマリダ街道13km)「平和と友好の碑」
3. サマリダ郊外ロアブア「日本人戦没者慰霊碑」



平和と友好の碑

経済協力

■ 無償資金協力

- 1979,1986 熱帯降雨林造林研究センター(ムラワルマン大学)
- 1988 東カリマンタン造林機材整備計画
- 2000 森林火災対策機材整備計画
- 2007 遠隔地ラジオ放送網拡張計画
- 2020 パセル県における保健所救急救命病棟建設計画



■ 技術協力

- 1983,1990,1994 熱帯降雨林研究計画
- 1990 高等教育開発計画
- 2003 郷土樹種造林技術普及計画

■ その他

- 2013~2016 バリクパパン市における泥炭・森林火災の消火技術普及モデル事業 (北九州市)
- 2017~ 中学教科「環境」の確立と環境教育の普及支援プロジェクト(於:バリクパパン)

■ 有償資金協力

- 1970, 1972 バリクパパン~サマリダ道路
- 1973 液化天然ガス開発
- 1978,1984 僻地ディーゼル発電
- 1979 地方ディーゼル発電所及び配電網
- 1979,1987, 1996 地方道路整備事業
- 1985,1991 バリクパパン空港拡張
- 1988,1989,1993 道路網改修
- 1990 地方及び都市道路改良事業
- 1995 ムラワルマン大学整備拡充事業
- 2000 水資源開発